

マイクロ波・ミリ波技術は今やあらゆるところに広く浸透し、意識することなく我々の日常生活を支え、豊かにする重要な基盤技術となっています。通信用途では 5G, Beyond 5G, 6G, IoT などとして、非通信用途では無線電力伝送、センサネットワーク、イメージング、マイクロ波医療応用などとして益々発展を続けることが期待されています。マイクロ波・ミリ波技術の更なる醸成と新たな展開を遂げていくためには、その基盤となる能動・受動回路の理論・設計・測定技術やそれを用いたシステム開発が重要です。そこで、これらの最新の研究成果の発表の場として、「Special Section on Microwave and Millimeter Wave Technologies」小特集（2023 年 11 月号）を企画致しました。

是非、この機会に積極的な御投稿をお願い致します。

1. 対象分野

主な分野は以下の通りですが、これらに限定するものではありません。

能動素子, 受動素子

能動回路（発振器, 増倍器, 混合器, 増幅器, ミックスドシグナル IC, MMIC など）

受動回路（導波路, 伝送線路, フィルタ, 共振器, カプラ, メタマテリアル, RF MEMS など）

マイクロ波/ミリ波/THz 波システム（5G/Beyond 5G/6G 関連技術, インテリジェントモビリティ関連技術, センシング・イメージング技術, ヘルスケア技術など）

アンテナに回路/デバイスを集積化した一体化技術

マイクロ波フォトニクス

IC 及び高周波モジュール実装技術, 高周波評価技術

無線電力伝送及び RFID 技術

マイクロ波回路/デバイス等のシミュレーション技術

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。原則として刷り上がりペーパー：8 ページ, プリーフペーパー：4 ページ以内（厳守）とします。詳細は Information for Authors (https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間（通常 60 日）を短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。

3. 投稿方法

査読作業の円滑化を図るため、本小特集では論文の電子投稿を行います。以下の手順で御投稿下さい。

- https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx より登録して下さい。
- Web による電子投稿の際、“Copyright Transfer, Article Processing Charge Agreement, Notices from the IEICE, and Privacy Policy” に承諾して頂きます。
- 登録時には、必ず“Journal/Section”で [Special-MM] Microwave and Millimeter Wave Technologies を選択して下さい。[Regular-EC] を選択しないで下さい。

4. 論文投稿締切日 2022 年 11 月 14 日（月）厳守

5. 問合せ先

吉田賢史（鹿児島大）

TEL [099] 285-3294, E-mail: yoshida@eee.kagoshima-u.ac.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 大平昌敬（埼玉大）

幹事 石川 亮（電通大）, 三谷友彦（京大）, 吉田賢史（鹿児島大）

委員 菊池 憲（住友電工）, 今野佳祐（東北大）, 阪本卓也（京大）, 塩見英久（阪大）, 鈴木恭宜（NTT ドコモ）, 中村室弘（日立）, 濱野皓志（住友電工）, 松嶋 徹（九工大）, 松室堯之（ATR）, 池内裕章（東芝）

7. 重要なお知らせ

- 招待論文を含む全ての著者は、論文が採録となった場合、2023 年 4 月頃に掲載料をお支払い頂くことになります。2023 年 5 月 15 日までに支払いが完了しない場合には、採録取り消しとなります。
- 採録となった論文は、掲載料が支払われた後すみやかにオンライン上で公開されます。詳細は https://www.ieice.org/eng/shiori/page2_es.html#8 を御覧下さい。
- 投稿者に非会員が含まれている場合には、この機会に入会することを勧めます。著者全員が非会員の場合、非会員掲載料が適用されます。ただし、招待論文に関してはこの限りではありません。入会の案内はこちらを御覧下さい。 https://www.ieice.org/jpn_r/member/join.html
- 参考文献の引用論文数はペーパー：30 篇以上, プリーフペーパー：15 篇以上が必須です。
- 2023 年 8 月号以降に掲載される英文論文誌 IEICE Transactions on Electronics のすべての論文は、J-STAGE を通じてオープンアクセスとなります。